

県央地区「明日の地域づくり委員会」委員を募集します

県では、県民が主体的に地域づくりを話し合い、県に提言する「明日の地域づくり委員会」の委員を次のとおり募集します。

- 活動内容** 委員会(月1回程度開催)で、地域づくりについて話し合い、2年目に提言をまとめます。
任期 2年(委嘱の日から平成27年3月まで)
募集人員 県央地区で12名程度
 ※県央地区…水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村
- 応募資格** 県内に住所を有する方(地方団体の長及び議員、常勤の公務員、過去4年以内に「明日の地域づくり委員会」委員を経験された方を除く。)
- 応募方法** 「平成25年度 明日の地域づくり委員会委員応募用紙」に所定の事項を記入し、郵送、FAX、電子メールのうちいずれかの方法で県広報広聴課へ申し込んでください。
 ※申込用紙は町総務課に用意してあります。
- 応募締切** 2月28日(木) ※当日消印、着信有効
- 選考** 応募用紙の記載内容等を参考に選考し、4月中に通知します。
- 応募先・問合せ** 県広報広聴課(広聴担当) 〒310-8555 水戸市笠原町978-6
 ☎029-301-2140 ☎029-301-2169 ✉koho2@pref.ibaraki.lg.jp

俳句

松手入空まで軽くなりにけり
飯田 勇一

枯菊を燃やす煙には雨戸閉め
いそべきよ

東京駅の丸い天井時雨けり
竹内 幸子

新彙の納豆母の香りなり
袴塚よし子

国訛「おいでなされ」と圍炉裏宿
綿引 英子

活断層走る列島冬の鵞
鯉淵寿美恵

文芸しるさと

短歌

嵐止み涼風ありて心地よし金
木犀の香りながれ来
所 美恵子

煮物する時は火の元離るるなど
息子は買ひ呉れり折り畳み椅子
杉山みちこ

久々に実家訪えば在りし日の様
に母が居そうな秋の日の午後
渡辺千紗子

歴史館の銀杏並木は黄にそみ
て黄金の道をよろこび歩む
山形 式妙

安曇野に遙か来て逢ふアルプ
スは雪を抱きて耀ふて在り
大森 久子

日の当る岸に寄り来て小白鳥
仲田まちゑ

大鷲来琵琶湖にカメラ集ひをり
飯村 昭子

初春の筑波山頂ガマの石
森 静江

オフィスの受付真紅の冬薔薇
今瀬多代美

石臼の音懐かしき蕎麦処
寺門 孝子

この町もテナント募集年の暮
一杉 常子

鉛色に煮あがり冬至南瓜なり
瀬谷 博子

歴史館銀杏並木人絶えず
岩下 金司

小春日に菘赤あかとサフランの
花むらさきにさ庭にやさし
青柳 京子

晴れ渡る今朝の大空恙無き幸
せ祈り元旦祝う
鶴田 すが

新春の護摩待つ檀徒の大焚火
囲みて交わす年頭のあいさつ
菌部 光子

吾が庭の姿整う男松日々ほめ
られて共に喜ぶ
富田 欽子

元旦は夫の命日あの日より幾
度の新春むかえ生きしや
枝 不美

もし神が過去を戻してくる
ならいづれの時を望まむわれは
片見 和枝

川柳



初詣うなじに深き祈りかな
田口 勝元

瑞気満つ富士より出でる初日
の出
富田 多蔵

元旦や清き一杯上げて飲む
青木新三郎

北風がサイフの中もとおり抜け
飯村 孝一

冬ざれのさ庭に立ちて新たな
る年の日の出を拝む侍せ
川上千代子

霜白き庭に初日の輝きてし
かに祈る戦なき世界を
島 愛子

元朝の放映一番苔寺にて覆ふ
緑葉永遠を守り継ぐ
多田志保子

いじめ受け自ら命たつ子等よ
なぜに救えぬかなしみ抱く
坪井きよ子

夫の友へ賀状の代筆為し来た
れども喪中の葉書認め淋し
萩谷登喜子

祈祷受くる人の多さに驚きぬ
虚空蔵尊に平安を祈る
富田佐智子